

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

学校関係者評価の基本方針

企業・業界団体・学術機関の有識者等との連携により、各専門分野における知見を活かして各学科の教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を教育活動及びその他の学校運営の改善に活かしていく。

開催日 令和4年3月22日（火）各委員からの書面回答まとめ

場 所

評価項目	現状・達成目標	課題と今後の改善方策	学校関係者の評価・提言
<p>(1) 教育理念・目標</p> <p>学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。</p>	<p>「人間（ひと）を大切に」という教育理念のもとに、</p> <p>①勤勉であること、 ②人・ものを大切にすること ③全ての人に明るく対応できること ④基本的生活習慣を正しく確立すること ⑤公共心、協調性を身につけること ⑥目的意識・向上心を持ち積極的であること</p> <p>の6つの教育目標を掲げている。</p>	<p>課題</p> <p>教育理念等を学生へ浸透させるには、普段から繰り返しの指導や確認をする機会が必要である。</p> <p>改善策</p> <p>週一回のホームルームを活用して復唱する等、意識づけを強化する。</p>	<p>○ 6つの教育目標を何も見ずに言える学生はいるか？意識づけするには、学生全員が暗記するくらいの指導が必要だと思う。</p> <p>○ 教職員一人ひとりの意識に差はないか。学生への指導に当たり、教職員も強い意識で教育目標の実践が必要である。</p> <p>○ 教育目標は福祉の学校として根幹であるものなので、教育課程編成委員会でも取り上げて、カリキュラムの一環としても導入してもよいのでは。</p> <p>○ 礼儀やマナーは、授業で習えばできるというのではなく、日常の積み重ねから習得されるものなので、その場その場で指導が必要である。</p>
<p>(2) 学校運営</p> <p>目的等に沿った運営方針が策定されているか。</p>	<p>期初に年間事業計画を作成。隔週開催の運営会議、月1回の職員会議にて運営の進捗等を確認。その他、学科会議にて各分野に沿った方針を確認。</p>	<p>課題</p> <p>各会議体のスムーズな連携による認識の共有。</p> <p>改善策</p> <p>皆が意見を出しやすい環境、雰囲気を作り、建設的に進める。</p>	<p>○ 各学科、校務分掌での活動計画をたてられているか？また、それを中間や最終で精査して今後に反映できているか。</p> <p>○ 運営の如何は人で決まる。一人ひとりが責任と自覚をもって業務を遂行していただきたい。</p> <p>○ 運営方針は、期初に明確であるので、進捗管理を確実にしているか。</p>
<p>(3) 教育活動</p> <p>教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。</p>	<p>各学科、規程に則り、教育課程を定めており、選択科目や独自科目において本校の特色をだしている。</p> <p>コロナ禍で進められていなかった多職種連携の取り組みを行っていく。</p>	<p>課題</p> <p>本校の教育理念をいかに教育課程に反映させるのが課題。</p> <p>改善策</p> <p>教育課程、授業内容、授業方法等を期初に決めているので、実践する。担当教員は進捗を確認する。</p>	<p>○ 大学では教員の教育力向上のため、学期末に学生の授業評価を実施して教員にフィードバックしている。その後、教員はリフレクションペーパーを作成し、授業等改善に役立っている。専門学校でも取り入れてはどうか。</p> <p>○ 教授能力向上に向けた研修を行う。また、各教員が専門分野の研修を受けに行っていると思うが、更に多くの研修に参加して学生へ還元して欲しい。</p> <p>○ コロナ禍により、施設実習が一部できない時期があり、学内実習になった。現場経験ができなかった時間の補填を考えて欲しい。</p> <p>○ 学校での感染防止対策の取り組み自体が、そのまま現場での感染防止対策となるので、引き続き感染対策を講じる。</p>

<p>(4) 学修成果</p> <p>就職率の向上が図られているか。</p>	<p>学校運営組織、キャリア支援部に各学科の教員が担当として編成している。各学科会議にて連携し本校学生のキャリア形成と就職活動を推進及び支援をしている。</p>	<p>課題</p> <p>就職活動の意欲が低い学生への動機づけ。</p> <p>改善策</p> <p>年間計画にある就職指導に加えて個別にアプローチする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校と施設との良好な関係が就職支援にも好転する。さらに業界の繋がりも広いようで狭いので、良い連鎖を築いていくことが大事である。 ○ 就職後の定着率も注目されてきている。離職する原因を把握できれば、定着に向けた指導に活かすことができるのではないかな。 ○ 現場で働いている卒業生を招待して就職講演会を実施している。就労への動機づけやキャリア形成の意識を高める。
<p>(5) 学生支援</p> <p>進路・就職に関する支援体制は整備されているか。</p>	<p>クラス担任制による個別指導の実施。学内及び学外就職ガイダンス、模擬面接、スーツディ等の実施により、早期の就職意識の高揚を促している。</p> <p>心理カウンセラーが月に2回来校して、カウンセリングを行っている。(予約制)</p>	<p>課題</p> <p>個性ある学生を一律に指導する部分と、個別で指導する部分の見極めが課題。</p> <p>改善策</p> <p>個別指導の場合、対象者の個性を教員同士共有して複数で指導にあたる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ たくさん送られてくる求人票を分野、施設種別、職種等の整理と地域も様々である。学生への情報提供を分かりやすくできているか。 ○ 心の病や発達障害がある学生が増えてきている。教員としての関わりを丁寧にしていくと共に、関係する専門機関等へ繋げていくことも視野に入れて指導する必要がある。 ○ 学力不振の学生に対して複数人で指導に当たり、状況を掌握してチームで指導する。
<p>(6) 教育環境</p> <p>施設整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。</p>	<p>教育上必要な機器・設備については購入し、整備する。</p>	<p>課題</p> <p>2号館の老朽化、空調の不具合、本館外壁が浮いてきている。</p> <p>改善策</p> <p>空調の不具合、本館の外壁を修繕する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時に対応し得る設備や備品及び、防災訓練等の実施、マニュアルの徹底はできているか。また、点検や見直しをして最新の状態になっているか。 ○ 設備環境だけでなく、人的な環境も整備されているか。教職員組織の配置や学友会(学生自治組織)等、教育の観点から有効に機能しているか? ○ 長期修繕計画の導入とPDCAの実施が必要。
<p>(7) 学生の受入れ募集</p> <p>学生募集活動は、適正に行われているか。</p>	<p>大阪府専修学校各種学校連合会が定めた専修学校版A0入試に関する運用基準に沿って、スケジュール、留意事項等を遵守し、適正に行っている。</p>	<p>課題</p> <p>受験生が本校を選ぶ理由と本校の魅力や特色に乖離はないか。</p> <p>改善策</p> <p>受験生が入学後、アンケートやヒアリングで本校を選んだ理由を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の魅力や特色が受験生に求められていないものであっても、改善できるものとできないものがある。養成する分野の規定を遵守しつつ、受験生から見て評価される特色を追求する。 ○ 地域や社会に貢献する学校であれば、自ずと知名度も上がり、進学先の選択肢の一つとして検討される。また、在学生の充実が後輩等へ伝わり募集の効果があるはずなので、学生を大事にすることが今後の学生増につながる。 ○ オープンキャンパスや高校でのガイダンスが受験生への直接的なアピールの場となる。高校生のニーズを掌握し、募集活動の準備を丁寧に揃える必要がある。また、社会人に対しても同様である。

<p>(8) 財務</p> <p>中長期的に財務基盤は安定しているといえるか。</p>	<p>看護学科の安定した定員充足と介護福祉科への留学生受入により、財務的には安定した。</p>	<p>課題</p> <p>こども未来学科の入学者増加 日本語能力の高い留学生の確保</p> <p>改善策</p> <p>こども未来学科は、情勢を掌握のもと今後の分析をし、適正な入学定員を算出する。 留学生は、海外からの直接入学を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育士養成は短期大学への進学が容易傾向にあり、専門学校への進学者が減少している。この傾向の中で入学者を増やすのは難しいのではないか。 ○ 上記と同様で、保育士を希望する人が減少していると聞いたことがある。今後の18歳人口と分野のニーズとを考慮して学科の体制を検討する必要がある。 ○ ハード面での老朽化問題が見受けられる。修繕や増改修と学科体制を総合的に検討した財務計画の検討が必要である。
<p>(9) 法令等の遵守</p> <p>法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。</p>	<p>学校教育法、各学科に関する法令及び規定、専修学校設置基準等に基づき適正な運営を行っている。</p>	<p>課題</p> <p>教職員は専門分野だけに精通することなく、関係する法令を把握して、その役割を果たす一員である自覚を持つこと。</p> <p>改善策</p> <p>関係する法令を学習し、業界動向、社会ニーズ、法改正の情報等の収集力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法令や規定は養成校の根幹となるため、教職員は法令遵守の精神を常に持って欲しい。 ○ 行政等が実施する説明会や研修へは積極的に参加して、そこで知り得た情報や学んだ知識等を養成校として精査して、学校運営に反映してほしい。 ○ 文科省や厚労省から発信される情報は、大阪府私学課から管轄の学校へ発信される。その内容を教職員は共有して適切な対応を図ること。